

学校だより

横浜市情報ネットワーク（ＹＹネット）上に本校のホームページがあります。

URL : <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tookaichiba/>

横浜市立十日市場小学校

令和8年8月27日（木）

緑区十日市場町 1392-1 番地

TEL : 981-0420

FAX : 983-1694

しなやかに、第2章

校長 熊谷 潤平

夏休み前日のことです。ある児童が私に尋ねてきました。

「校長先生、今年も自由研究するの？」

いやはや、驚きました。

というのも、1年前の夏休み前朝会で、「私も、夏休みの自由研究をするよ。十日市場小学校に来るのが楽しい！授業が分かる！ってみんなが思えるようにするにはどうしたらいいか考えます。休みが明けたらみんなにアンケートも取ります。よろしくね。」と話したのです。この児童は、去年の私の話を覚えていたのです。このすばらしい記憶力と感性に裏打ちされた問い

きれいな月の下、PTA 花火企画に弾ける笑顔

に対して、私は驚きつつも、とても高揚し、「もちろんするよ！」と答えました。宣言したからには、自由研究をしないわけにはいきません。タイミングがよいことに、本年度の横浜市学力・学習状況調査と生活状況調査の速報（2～6年生対象）が届きました。去年子どもたちに取らせてもらった「笑顔いっぱいアンケート」の結果を踏まえつつ、状況調査結果の速報版をにらんでみます。

最も気になる項目は、「学校は安心できる場所か」と「学校での学習に進んで取り組んでいるか」の二つです。学校は安心できると肯定的に答えた児童は、昨年度の84.8%（市平均88.6）から91.8%

（市平均88.8）に増えました。7ポイント増はうれしい結果です。進んで学習していると肯定的に答えた児童は、昨年度の89%（市平均91.6）から91.4%（市平均91.8）となりました。微増もしくは横ばいと言えましょうか。これまで、学校が楽しくなるにはどうしたらよいか考え、子どもたちの声を聞き、各種行事や本校教育課程の改善に取り組んでいることが、少しでもこの結果に結びついてくれたのならうれしいことです。それでも道半ば。100%に近付くためにはどうすればよいのか、何をすればよいのか。去年のアンケートでは、学校が楽しいかどうかを左右する最も大きな要因は友達のこと

（59.5%）であり、その次が勉強のこと（25.6%）でした。私の「夏の自由研究」によると、十小の子どもたちは全体としては、算数の成績が安定（市平均と同等もしくは上回る）していました。対照的なのが国語の成績で、全学年において市平均を下回りました。もしかしたら、特に国語の授業を分かりやすく、おもしろくすることが、学校を楽しくすることに強く関係するかもしれません。もちろん、ことはそんな単純ではなく、全ての子が安心して楽しい学校になるためには、多くの要素があるはずで、我々教職員は夏休み後も、引き続き考え、行動を起こしていかなければなりません。

40日間もの長い休みが終わり、子どもたちの顔を見れば、「夏休み、楽しかったかい？充実してた？いい思い出できたかな？」と思わず尋ねたくなります。私は十日市場小学校長ですから、当然十日市場小の子どもたちは、この夏休みが楽しく、充実したものであってほしいと思います。でも、中には夏休みを楽しめなかった子がいるかもしれません。充実していたとは言えない子もいるかもしれない。

今日、休み明け朝会でも触れましたが、この夏休み中に、日本の各地で、大地震・豪雨・事故により、多くの尊い命が失われました。天災や命運の、あまりの非情さに打ちひしがれ、激しく心が痛みます。日本や世界の各地で起きた災害や事故に思いを馳せ、想像力を働かせられる十小の子であってほしいとも思います。

存分にこの夏休みを楽しみ充実していた子も、様々な事情で楽しめず元気になれなかった子も、全ての十小の子がまた今日から、しなやかに、たくましく、日々の生活を、学校生活を、送って行ってほしい。そう切に願うところです。

いざ、令和8年度十日市場小学校第2章、幕開けです。